

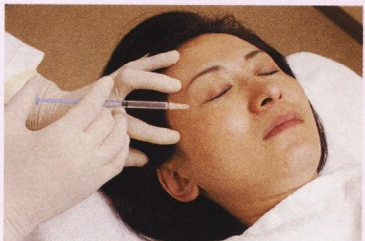
周りに気づかれず 自然な変化で きれいになる

●PRP皮膚再生治療●

自分の血液の中から血小板のみを取り出すことで、その部位の細胞を活性化させる方法。本来傷口をふさぐ血小板は細胞を活性化させ再生を促し、さらにコラーゲンを生成する。小じわが気になる部分に注入（注射）すれば、細胞が増えコラーゲンも増えて、しわは解消、ピンとしたハリが生まれるのだとか。自分の



聖心美容外科では、特殊なフィルターと遠心分離機を使用することで血小板回収率97%。通常の4〜10倍もの血小板を含んだ血しょうを作り、使用する



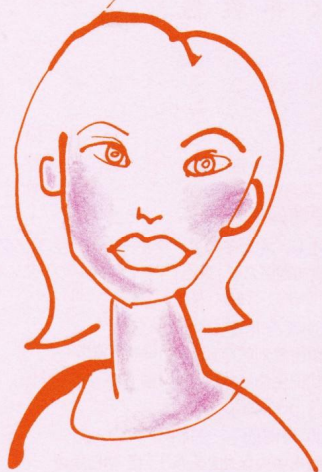
PRP（多血小板血しょう）を気になる部分に注入。採血から注入まではわずか30分程度

血液を使用するため副作用やアレルギーの心配がない。

目の下は皮膚が薄く、仕上がりのちよつとした凹凸がくつきり目立ってしまつたため、これまで目の下の細かいしわを消すのは至難とされてきた。それがこのPRPを用いることで一気に悩みは解消。効果は1〜2年程度続き、例えば聖心美容外科の場合、費用は両目周りなど1部位約20万。

●ニューダマールローラー●

「傷はやがて新しい組織によって治る」。この原理に目をつけてしわやたるみ、シミ、妊娠線などを消しさらに薄毛対策にも利用しようというもの。約200本の超微細な医療用針がついたローラーを顔の上で転がし、肌の表面に微細な傷を無数につける。その傷を治そうと細胞が活性化され、コラーゲンが生成され、お肌にはハリとツヤがよみがえるというなんとも痛そうなお話。とはいえ、施術前に塗布する麻酔クリームにより痛みはほとんどなく、表皮に開いた小さな穴も2、3時間後にはふさがってしまうという。顔全体で1回約5万円、半月〜1カ月に1度通うのが効果的。



●リフティング●

たるんだ頬を目尻に向かって糸で引き上げる「リフティング」。かつては引きつったような不自然な仕上がりになることも多かったが、最近では、糸に工夫をこらしたり、その入れ方も平行やクロスなど、より自然で高い効果が得られるよう研究が進んでいる。

最近の人気は高純度の純金糸を使うなんともゴージャスな「ゴールドデンリフト」。金は安定性が高いため効果が長く持続し、アレルギーも起こりにくい。たるみを取るリフトアップ効果に加え、金の周りに生成されるコラーゲンで、ハリとツヤというおまけ付き。両頬に入れてお値段は約25万円。

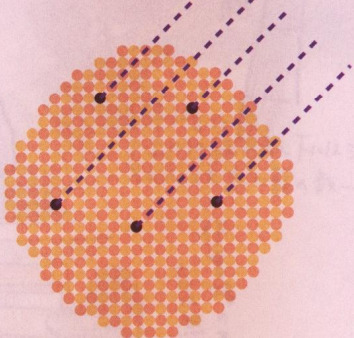


特殊なかえしのついた糸を頬に埋め込み、たるみを引き上げる「カウンターレッドリフト」による施術のビフォー&アフター

●光療法●

レーザー治療を進化させたもので、メラニン色素にだけ作用する波長の光線を肌にあて、肌に全くダメージを与えないことなく、メラニンを破壊しシミやソバカスを除去する。また光が肌の奥深いところまで届くため、コラーゲンやエラスチン生成に関わる細胞を活性化させ、お肌の生まれ変わり（ターンオーバー）を促すというからまさに希望の光だ。シミやソバカスのほか、くすみ、たるみ、小じわ、毛穴の縮小にまで効果がある。

1回の費用は顔で約3万円。永続的な効果を得るには1カ月に1回の照射を半年〜1年。



●カーボメッド●

専用の機械で二酸化炭素ガスを皮下に注入、細胞を一時的に酸欠状態にし部分痩せを実現するものだ。酸欠状態になると体内では多くの酸素が運ばれてくるため、代謝が改善され、脂肪が燃焼、セルライトまで分解されるという。ヨーロッパでは動脈硬化や血管障害の治療にも用いられており、安全性に問題はないとか。



1回約15分で1部位2万円前後。効果を上げるには週1〜2回、4週程度通院する必要があるようだ。頬やあご、二の腕、お腹まわりなどに効果が高いとされ、ビール腹にも最適？

●豊胸●

かつてのイメージでは、豊胸といえばシリコンバッグ。現在はバッグの素材も様々なものが開発され、触り心地も自然で、安全性の高いものもなっている。バッグを入れる手術はもちろん麻酔をかけて行うが、その術後は「美容外科で行う施術の中で一番痛い」と言う人もいるほど。手術後は約半年ブラジャーの使用不可など生活への影響もでる。そんな術後のケアも次第に改良されてきているようだ。

胸に注入するというまるで夢のような方法もあるが、実際には脂肪の半分が定着せずに流れてしまつたり、可能なサイズアップ幅も大きくはない。そこで最近注目されているのが、SUB-Qと呼ばれる粒子の大きいヒアルロン酸を胸に注入する方法だ。施術に要するのは40分程度で効果は約1〜2年持続、ブラジャーのサイズを1カップ程度アップさせることも可能。授乳にもまったく影響がないという。1カップアップに必要なお値段は、片側で約50万〜100万円。

●ボトックス●

ボトックスとはボツリヌス菌毒素、つまり毒。筋肉をマヒさせる作用があるために、目尻の表情じわを消したり、えらの張りを抑えたり、ふくらはぎを細くするのに使われる。汗を分泌するエクリン腺の働きを止める働きもあるため、手のひらや脇の多汗症、

わきが治療にも利用される。

「毒なんて使つて大丈夫？」とは誰もが疑問に思うところだが、アメリカではしわ取りとしてボピュラー。日本でも厚生労働省が眼科薬として認可している薬剤である。効果は約4〜6カ月持続し、その後ボツリヌス菌毒素は体内で安全に分解される。



「ボトックス」とは正式にはアラガン社の登録商標製品名で、ボツリヌス菌から抽出したボツリヌスタイプAトキシン製剤のこと